

自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ

①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

ハザードマップを見て、災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。

避難場所（12ページ）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ステップ

②

行政機関から提供される警戒レベルについて確認しましょう。

町から発令される避難情報等、国・県・気象庁から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。^{※1}

警戒レベル	状況	住民に求める行動	避難情報	防災気象情報
警戒レベル5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 ^{※2} 町が発令	大雨特別警報 氾濫発生情報
< 警戒レベル4までに必ず避難！ >				
警戒レベル4	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 町が発令	土砂災害 警戒情報 氾濫危険情報
警戒レベル3	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難 ^{※3}	高齢者等避難 町が発令	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	——	大雨・洪水・ 高潮注意報
警戒レベル1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	——	早期注意情報

※1 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※2 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も、必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

津波の際は、一刻も早い避難が必要であるため「避難指示（警戒レベル4相当）」のみ発令されます。
津波災害は、切迫度が段階的に上がる災害では無いので、警戒レベルを付さないこととしています。